

熊本に来て6年。第一印象は「街には活気があり、人は穏やかだな」というものでした。

県民の「お城愛」にも驚きました。私が生まれた京都市には、二条城というお城はあるのですが、天守閣はなく、大きなお屋敷といった風情です。一方、熊本城は街の真ん中に立派な天守閣があり、いろいろな場所から見えて、楽しんでくれます。

4年前の熊本地震では、その天守閣が傷つき悲しい思いをしましたが、立派に再建されて喜んでいます。出張などの帰りに新幹線の車窓から、天守閣が見えると「熊本に帰

地震4年

ってきたな」とほっとするようになってきました。

私は阪神淡路大震災も経験し、関西では家具は必ず壁に固定していましたが、熊本では「大きな地震はないから」と思い、固定していませんでした。そのため、4月16日の本震では、家具やテレビなどは倒れて壊れ、部屋中に本やCDが散らばって、足の踏み場もない状態となりました。電気やガスは早く復旧したのですが、水は2週間出ず、病院勤務が終わってから、普

段は1時間もかからない近郊の温泉に片道3〜4時間かけて通ったものです。

地震直後には、益城町や御船町の避難所に行き、床ずれや糖尿病で足に傷のある患者さんの診察もしました。処置が必要な患者さんがいたため、避難所近くで開業している先生を突然訪ね、ハサミやピンセットをお借りしました。面識もなく、ご自身も被災されているにもかかわらず快く貸していただき、助かったことを覚えていています。

一筆



熊本赤十字病院
形成外科部長

黒川 正人